

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(丸塚中)学校運営協議会長

<本年度の目標>

グランドデザインの実現に向けた取組に、役割分担を担う当事者として、学校・家庭・地域の連携、協働を強化できるよう熟議を進めていく。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 「志を持ち 自ら学び 良さを伸ばし合う生徒の育成」の実現が日々の教育活動を重ねる中で前進していると感じている。
- 授業や学校行事、部活動での活躍、登下校の様子から、生徒自身が「明日も来たくなる丸塚中学校」を実感していると協議会でも体感している。
- 校長先生をはじめとした先生方の生徒たちへの熱い思いを感じる内容となっている。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 委員・地域住人として、年間を通して一輪挿しや草木染体験指導、裁縫ボランティアを行い、発達支援学級の生徒たちと学ぶ機会を持つことができた。また、生け花教室を実施し、生徒の豊かな情感を育むことができた。今後も地域人材を活用し、地域と学校のつながりを意識した活動を広げていきたい。
- 学校評価アンケートでは、生徒や保護者の本音を引き出すための質問項目について議論し、学校いじめ防止基本方針に合った内容を検討したり、ビジョン実現のための項目を加えたりすることができた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- 学校ホームページやCSだよりを通して、情報発信を行っている。
- 授業参観の機会に、保護者の目に留まるように、CSだよりや会議録を掲示することも検討したらどうか。また、協議会の様子をブログに掲載することもよいのではないか。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- 3年目となる令和6年度は、学校の課題を基にした学校から地域への要望をより積極的に聞き、それに合わせた地域人材の拡大や確保を進めていく。
- 委員が生徒と直接話したり、意見を聞いたりする機会をつくり、生徒の生の声を聞く中で協議会ができることを検討していく。